

# いいたん 飯南



いいなんちょう  
飯南町広報  
平成19年7月20日 No.31



## 7月号

### 飯南町議会定例会 行政報告

語り合おういいなんのまちづくり まちの話題・町のうごきなど

みたらえ  
角井八幡宮連華祭(御田植の儀)

# 飯南町議会定例会

行政報告（抜粋）

6月12日から21日まで、第3回飯南町議会定例会が開かれました。今回は、18年度繰越明許費、町出資の財団法人等の経営状況など報告5件、専決処分を行った承認案7件、条例関係2件、一般会計補正予算など予算関係3件、その他議決を要する事項1件を提出し、いずれも原案どおり可決しました。

## 「森林セラピー基地」の認定

3月23日に「県民の森」が、森林セラピー基地」として認定されました。

4月16日には、推進組織である「森林セラピー推進協議会」を設立し、町民の皆さんを対象に体験会を行い、5月には、町外の方を対象に「モニターツアー」を実施しました。ツアーの結果を検証しながら、一般受付（8月開始）の準備を進めます。



## 頑張る地方応援プログラム

地域の特色や先進的な取り組みを、自ら考え実践していく意欲のある市町村に対し、国が財政的支援を行う「頑張る地方応援プログラム」の1次募集があり、5月に応募しました。町のホームページに概要を公表しています。

## 石見銀山街道整備

飯南町に残された銀山街道は、「美しい日本の歴史的風土準100選」に選定されました。地域遺産として後世に伝えていく貴重な財産であり、保存整備と共に、地域活性化への活用が望まれます。

そのため財団法人地域活性化センターが所管する「合併市町村地域資源活用事業」に

## 商工業の振興対策

頓原地域の中心市街地活性化事業について、「楸杜の風とんばら」で検討が進められていました。株主総会において、事業の断念、これに伴う資本金の減資について決定されました。今後は、関係機関と協議して対応していきます。

## 学校教育の充実

今年度から地域の皆さんの意向を学校運営に反映し、地域に開かれた学校づくりを進めるため、町内の各小中学校に学校評議員が5人ずつ認定されました。

今後は、学校運営や学校評価について意見をうかがう場として、年3回程度の学校評議員会が開催されます。

## 来島ダムにおける洪水時の対策

「来島ダム水利等調整委員会」

申請し、採択されました。事業内容は、街道沿いの古民家の修復、案内標識の設置、街道マップの作成、ガイドの養成などです。

## 町営バスの広域運行

商業圏の拡大、飯南高校の生徒や飯南病院の患者確保のため、町営バス「谷線」の美郷町都賀方面への延長について、美郷町に協議の申し入れを行い、具体的な協議を始めました。

## 農林業の振興

品目横断的経営安定対策  
5月末の加入状況は、認定農業者8人、法人3団体で、経営面積は、約115ヘクタールです。受付期限の6月末までに、更に任意団体1団体、法人1団体の加入を予定しており、経営面積は、約170ヘクタールを見込

んでいます。

## 農地・水・環境保全向上対策事業

提出された協定書案の内容について、審査等を行っています。最終的には22地区と協定を締結できると考えています。実施面積は、水田1050ヘクタール、畑50ヘクタール、草地50ヘクタール程度を想定しており、水田については、町の水田面積の約95%で事業に取り組まれる見込です。

環境保全に向けた営農活動に対しては、9地区184ヘクタールでの取り組み要望をいただいています。

## 堆肥のペレット化施設整備

この整備は、雲南農業協同組合で計画されていますが、県の「立ち上がる産地育成支援事業」の採択を受け、今年度実施されます。町が目指す循環

## 未収金対策

17年度末の未収金総額は、一般会計で約2500万円、特別会計で約4900万円でした。18年度は、町税で約540万円、住宅使用料約70万円、保育料約60万円、特別会計では国民健康保険料約760万円、水道使用料約70万円、下水道使用料約30万円、住宅新築資金等貸付事業約120万円などの未収金が生じましたが、現年度分や滞納繰越分の徴収率の向上などに対策の成果が現れており、住民税の滞納分の徴収率は、約40%向上しました。

特に18年度は、差し押さえを基本とした徴収対策を実施しました。町民税は5件を県へ引継ぎ、固定資産税と軽自動車税の5件は、差し押さえを実施し、約80万円が納付されました。更なる対策強化として、7月から税務担当職員との相互併任を行います。これは、担当職員を半年間県に派遣し、徴収対策の現地研修など徴収のノウハウを得ることを目的としています。県からは徴収事務の専門官が本町に派遣され、徴収事務に対して専門的な助言などを受けながら、徴収事務の向上を図ります。

## （株）琴引フォレストパークの運営状況

スキー部門  
記録的な暖冬により、入場客は前年対比で22.2%減の2万2412人、売上額は、15.2%減の8467万円と、それぞれ大幅に減少しました。

## 宿泊事業

ビジネス客の減少等により、来客数は、前年比で11.4%減の2万1560人、売上額は、6.6%減の8080万円と減少しています。

## 道の駅事業

情報交流館の整備や、冬場の天候に恵まれたことなどにより、売店の売り上げや宴会部門の増加がありました。来客数は、前年比4%減の5万2224人でしたが、売上額は、3.4%増の8529万円でした。

経常損益は、前年に対し約1400万円悪化し、1634万円の損失が生じました。本事業については、さまざまな視点から検討を重ねているところです。考え方をまとめ、今後の方向づけをしていきます。



## 一般会計補正予算

今回の補正予算で、1億3600万円を減額しました。これにより、町の予算規模は6億3487万円となっています。

### 【主な内容】

町道新市赤名線整備事業・・・1億円  
銀山街道整備事業・・・1100万円  
生命産業創造プロジェクト

堆肥ペレット化施設整備事業・・・1100万円  
堆肥ペレット化施設整備事業・・・400万円

## 特別会計補正予算

### 【主な内容】

前年度医療給付の精算に伴う増額（老人保健事業会計）・・・1100万円  
町道新市赤名線整備事業に伴う支障移転工事の追加（簡易水道事業会計）・・・2500万円  
下水道事業会計単独事業費・・・1200万円

# 参加者のご意見 ご提案

## スキー場のあり方

- ・積雪量が少ないので運営は困難だと思う。
- ・早期解決が必要だ。長期化してもメリットはない。
- ・貸付金の回収は不可能だが、町内有志等直営で運営を目指してはどうか。
- ・住民の利益につながり、福祉向上になるような結論を出してほしい。
- ・学校教育として、町に対する波及効果は大きい。
- ・存続してほしいが、これ以上財政が圧迫されるなら閉鎖も検討すべき。
- ・採算が取れないなら、賢明な判断をすべき。
- ・地域住民に負担をかけない方法を考えてほしい。

## 町政に対して

- ・休耕田をバイオマスに利用できないか。
- ・若者呼び寄せ子どもが住める町にしてほしい。
- ・あまり手を広げず地道に町政をしてほしい。
- ・財政難の中でも人を育てる施策は大切だ。
- ・住民の甘えにつながらないような住民サービスをしてほしい。
- ・パラマキ補助金、水道などの建設工事を2~3年中止し、財政を建て直すべきだ。
- ・地区担当制の役割を確実に実施してほしい。
- ・医師不足なのに病院と診療所が近くに必要なのか。
- ・セラピーがどこで儲かるのか分からない。
- ・配布文書が多すぎる。簡略化の検討やCATVを活用してほしい。
- ・本当に必要な施策を再検討してほしい。
- ・保育所の民営化をしてもうまくいかないと思う。子育てが定住の大切な施策なのでは。
- ・役場の見通しが甘すぎる。10年後の姿を考えて進めてほしい。
- ・段々住みにくい町になっており、住民が減るのも納得ができる。
- ・本音の政治をしてほしい。

## 琴引フォレストパーク

**Q** スキー場はそれなりの集客がある。どう客を集めるのかは、行政の役目ではないのか。

**A** 今後様々な視点から皆さんのご意見をいただき、共に取り組んでいきたい。

7月9日から13日まで、町内4カ所で町政座談会を開催し、町民の皆さん160人の参加がありました。今回は、皆さんからいただいた様々な意見や提案、その回答の要旨を紹介します。



# いいなんの おうち合語り



## 教育・文化

**Q** 飯南高校は、今後の存続に向けて大きな特色を持たなければならない。特色の一つとして、良い大学への進学を可能にして、良い企業へ就職できる環境にするべき。その後、出て行った優秀な人材を、呼び戻すことも大切だ。

**A** 飯南高校存続は重要であり、経済的にも地元にあるのが一番だと考える。同校を卒業した生徒が、町へ帰ってくる仕組みが大切だ。例として、町内企業の本社へ数年勤務して町へ戻り、中心となつて活躍するような仕組みづくりが必要である。

# おうち合語り



**Q** 赤名峠で120年ぶりに「国境の碑」が復元された。三次市ではとても力を入れているイベントなのに、飯南町も銀山街道を生かしたまちづくりへもう少し全町民の意識を高めていただきたい。

**A** 皆で取り組んでいきたい。

## 健康・福祉

**Q** 他市町村では、子育て支援に関する補助事業や支援事業があるが、飯南町では考えられているのか。

**A** 子育て支援に関しては、保育所・小中学校それぞれに応じた支援が必要だ。トータル的に進めていきたい。



さつき会館



赤名農村環境改善センター



来島基幹集落センター



ふれあいホール『みせん』

**Q** スキー場を継続しても廃止しても、4~5億円の負担があるが、更に負担が出てくることも考えられる。最終的には、みんなの意見を聞いて決めるのか。

**A** 今回の座談会で意見をいただき、今後、議会の意見を聞くなど十分に検討する。

**Q** 「昨年、1億9千万円の債務が発覚した。公になつていなかったものが出てきた」という説明があつた。民間と民間の約束なので説明しなかつたということであつたが、民間と民間の約束を、なぜ町が責任をとる必要があるのか。

**A** 再生計画は、町が国・県からお金を借り、琴引フォレストパークに貸している。国・県へは、同施設が町へ返すお金をもつて、町が返済することとしていた。同施設から返済が滞つても、町は国・県へ返済しなければならぬ。

## 観光・産業

**Q** 町で開催されるイベントには、簡易トイレが用意されているが、身体の不自由な方への配慮がなされていない。

**A** 今後のイベントでは対応したい。

# まちづくり

## 定住

**Q** 空き家対策をホームページ等で紹介されているが、希望者がいるのに良い物件が無い。

**A** 空き家改修については、今年度から実施している。すぐに入れる物件は少なく、修繕費がかかる物件が多いため、改善策を検討している。

## 情報・通信

**Q** 飯南町を紹介するDVDが、町ホームページで見れるようになっていた。町をPRするのなら、もっとインパクトのあるものを作った方がいい。

**A** 町をPRする方法については、いろいろ考えていきたい。DVDに関しては、皆さん

**Q** 和牛の飼育は、個人で1~2頭を飼うのは大変だということ、飼育農家が減少している。個人に負担が軽減されるよう、新たな和牛の飼育方法を検討してほしい。

**A** 和牛飼育の推進は、今後重要だと考える。一つの案として、集落営農での取り組みを検討している。

**Q** 中山間地域研究センターを、地域の活性化に活用すべきだ。

**A** 町の農林振興協議会の中に、同センターも加わつていただいている。町とセンターの意見交換会も開いており、今後もセンターを大いに活用させていただく。



## 生活

**Q** 選挙の投票所の見直しを考えてほしい。投票所によっては駐車場が無く、目の前に投票所があるのに、遠くへ行かなければならない世帯もある。

**A** 投票所の整理は、経費の軽減にもつながるので、実際に統合もあるが、地域の合意が前提だ。まず、地域内で十分話し合つていただきたい。

江戸時代から続く伝統行事「半夏まつり」が、今年も盛大に開催されました。天候に恵まれた今年は、町内外から多くの人が訪れ、ステージイベントや大花火大会を楽しむなど、賑やかな初夏の夜を満喫していました。



出た数字に一喜一憂(ビンゴ大会)



飯南神楽同好会



お仕事戦隊イソガシンジャー



赤名小児童による銭太鼓

# 半夏まつり

赤名夏の風物詩

7/7(土) 7/8(日)



## 飯南高校創立60周年記念事業講演会 中山間地域の高校教育を考える



錦織良成さん

飯南高校創立60周年記念事業の一貫として、同校支援プロジェクト21実行委員会の主催で、記念講演会が開催されました。この日は、同校体育館に全校生徒や関係者、地域の皆さんなど約270人の参加がありました。

講演会では、最初に映画監督の錦織良成さん(出雲市出身)から「夢の実現に向けて」と題したお話がありました。

錦織さんは、自身が映画監督になるまでの経験等を交えながら、「先入観や既成概念を捨て、感じたことや体験したことを自分なりに受け止め、豊かな感性を育てて欲しい」と話しました。

続いて、島根県産業創出プロデューサーの矢野仁さん(松江市)から、「地域振興と若者の定住」と題した講演がありました。



ました。

矢野さんからは、魅力ある地域づくりや人材育成のために、町へは「若手職員と志のある経営者によるまちづくりチーム」の提案があり、生徒には「働くことの大切さ」を話しました。

二人の講演を聞いた参加者は、気持ちを新たにしている様子で、今後の地域づくり・学校づくりに大変参考になる講演会となりました。



矢野仁さん

## 7/3(火) 自慢の子牛が勢ぞろい 飯南町 半夏子牛共進会

古くから和牛の飼育が盛んな飯南町では、江戸時代から半夏市(牛市)が開かれており、以前は各地から人々が集まって、盛大に競りが行われていました。

近年開催している「半夏子牛共進会」は、農家の減少により、規模が縮小していますが、町内で頑張っている農家の皆さんが、自慢の牛を出品しています。今年も畜産センターに約60人の関係者が参加し、25頭の出品がありました。

上位入賞者  
首席 塚本国蔵さん(上赤名の愛牛)  
次席 加藤治義さん(下赤名の愛牛)  
3席 津和野保さん(上赤名の愛牛)



どみひめ1の4号と塚本さん

昨年から基幹集落センター・保健福祉センターの2会場で行われており、どちらの会場も、子どもたちの元気な笑い声が聞こえていました。



同グループの献身的な活動は、子どもたちに芝居の楽しさだけでなく、夢や希望も伝えていくようです。

## 会場は子どもたちの笑顔でいっぱい 三次親子劇場地域公演

「三次親子劇場地域公演」は、町内の女性グループ「子供と生の芝居を観る会」の主催で、「子どもたちにたくさん感動を体験してほしい」という思いから活動しています。町



6/15(金) 7/5(木)

内では、生の芝居を観る機会が少なく、この公演を楽しみにしている方も多く、今年も多くの親子連れで賑わっていました。

## 6/24(日) 銀山街道の「国境の碑」が復元 赤名峠で記念セレモニー



赤名峠には、江戸時代に島根・広島の間境を記す「国境の碑」が設置されていました。この石碑は、1987(明治20)年の道路拡幅工事の際、三次市布野町の神社へ移設され、重要文化財として120年間保存されてきました。

この日は、児童による渡り初めが行われ、児童は「これからも正しく横断歩道



児童の安全確保のため、地域の皆さんの手作業による「横断旗設置型看板」がありましたが、老朽化が進んでいました。

このような状況の中、ダム工事に携わっている都間土建、まるなか建設から、安全人形が2体寄贈されました。



この日は、児童による渡り初めが行われ、児童は「これからも正しく横断歩道

# 飯南町消防団 夏期訓練を実施



7月1日、赤名山村広場において飯南町消防団夏期訓練を実施しました。  
夏期訓練は、町内の各分団が揃って取り組む貴重な訓練であり、毎年実施しています。この日の訓練には団員275



人が集まり、各分団の出動報告や新入団員の任命を行った後、通常点検・部隊訓練を行いました。  
飯南町消防団は、348人(4月1日現在)で構成されており、火災発生時の消火活動や児童・生徒の下校時のパトロールなどに取り組んでいます。消防団の日々の活動は、町民の皆さんの安心・安全を確保するために必要であり、今後も積極的な活動に取り組んでいきます。

## 赤来中で「まちづくり出前講座」を開催

「まちづくり出前講座」は、町民の皆さんの要望に応じ、町職員が出向いて事業等の説明を行うもので、17年度から取り組んでいます。6月26日には、赤来中学校の1・2年生66人を対象として実施しました。  
今回は、同校の総合学習授業の二環として、「自然と歴史」「産業と福祉」といった様々な面での町の施策や課題等の講座を希望され、山崎町長が講師として講座を行いました。町長は、自らの体験談を交



えた「飯南町の魅力」を中心に、現在取り組んでいる森林セラピー事業の説明や、ハンドボールを初めとする飯南高校の活躍などの話題を取り上げ、「この町に住んでいることに誇りを持ってほしい」と話しました。出前講座は、町民の皆さんの希望を聞き、それに沿ったメニューを作って開講しています。ぜひこの講座を利用いただき、地域づくり等に活用ください。  
お問い合わせ 7622902  
企画情報室

# 平成18年度 飯南町各公社の決算状況

## 飯南町開発公社

憩いの郷衣掛 **収入額** 4,592万円 (内:営業収益3,438万円) **支出額** 4,926万円

平成18年度は、4月から8月まで指定管理者として経営管理を行ないました。(9月以降は大新東株式会社が管理運営)管理期間中は約1万6,021人の利用があり、前年比1,041人の減少でしたが、売り上げはほぼ前年と同額となりました。管理運営業務の廃止にかかる支出に伴い、営業費用が昨年同期を上回りましたが、それを控除した場合の経費は、前年同期より削減が図られています。営業収支や人件費率においては、改善を図ることができました。

開発農地 **収入額** 1,936万円 (内:販売収入1,936万円) **支出額** 1,908万円

【りんご園】 入園者数は前年とほぼ同じで、良質なりんごを提供することができました。  
【ブルーベリー園】 接木・補植により収穫量が若干減少しましたが、入園者数は前年比で1割増加しました。  
【加工部門】 りんごジュースやジャムをはじめ、セルリ・メロンの粕漬け製造などを引き続き実施しました。



ぼたん園 **収入額** 719万円 (内:販売収入247万円) **支出額** 724万円

入園者は昨年より減少しています。鉢の販売数は、日本医学検査学会や町からの受注により975鉢あり、昨年より増加しています。

県民の森管理 **収入額** 1,113万円 **支出額** 1,030万円

平成18年7月豪雨の影響で、県民の森への立ち入り制限がなされたことが影響し、研修館・キャンプサイトの利用者は前年を下回りました。関係団体と連携をとり、森林セラピーの拠点としてふさわしい施設管理に努めていきます。

スキー場 **収入額** 121万円 (内:施設利用料0万円) **支出額** 119万円

暖冬による積雪不足により、営業することができませんでした。

## 飯南町農業公社

**収入額** 167万円 **支出額** 211万円

農用地利用集積業務として21.0haの農地を、農家・法人に再委託しています。公社のあり方は、引き続き検討していきます。



## 飯南町土地開発公社

**収入額** 692万円 **支出額** 61万円

18年度は造成工事等を実施しておらず、事業収支は阿丹谷用地(志津見)売却と借地による収益があり、黒字になりました。資産の処分として、阿丹谷用地の売却と県道吉田頓原線用地(残地)無償譲渡による償却を行いました。

### イベント情報

#### 頓原中サマーコンサート

開演日時 7月29日(日) 17時30分  
開演日時 7月29日(日) 18時  
会場 飯南ホール(みせん)  
ふれあいホール、みせん  
飯南ブラススィングと頓原中学校吹奏楽部の競演による、素敵なコンサートです。  
お問い合わせ 7220521  
頓原中学校



#### 赤来中・飯南高吹奏楽部 定期演奏会

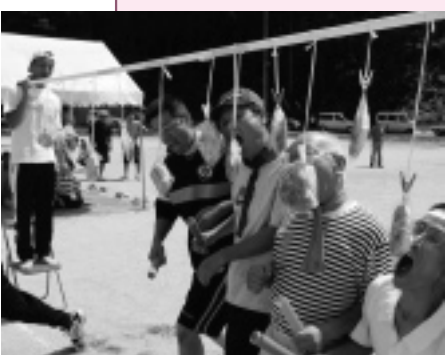
赤来中学校と飯南高校の吹奏楽部による、生の演奏をお楽しみください。  
日時 8月18日(土) 18時30分(予定)  
会場 赤名農村環境改善センター  
お問い合わせ 7622164  
赤来中学校  
飯南高校 762333

#### 八神ふる里夏祭り

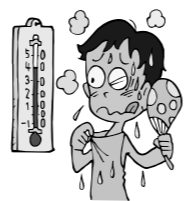
どこか懐かしい、心温まる夏祭りです。  
日時 8月5日(日) 19時30分  
会場 志々乃村神社  
内容 バンド演奏、有志による踊りなど  
お問い合わせ 730001  
八神ふる里夏祭り実行委員会

#### 町民体育大会

日時 8月26日(日)  
会場 赤名小グラウンド  
赤名 赤名小グラウンド  
来島 来島小グラウンド  
谷 谷体育館前グラウンド  
頓原 頓原町民グラウンド  
お問い合わせ 7221776  
教育委員会社会教育担当



## 熱 中 症



熱中症とは、高温や多湿の環境下で起こる全身の障害のことをいい、症状により熱けいれん・熱疲労・熱射病・太陽光によるものは日射病に分けられます。「熱けいれん」は、発汗後に水分だけを摂り、塩類が不足した場合に生じます。けいれんや硬直等の症状がありますが、体温は正常の場合が多いです。治療には、食塩水など塩分の摂取が必要です。

「熱疲労」は、大量の発汗により脱水状態になった状態です。体温も上昇しているため、補液と冷却療法が必要です。

「熱射病」は、脳の温度中枢に障害を受け、体温調節機能が失われた状態です。意識障害や40以上の発熱があり、発汗はみられません。命に関わる恐れがあるので、すぐに医療機関で受診してください。

熱中症は、高温多湿の環境で水分をとらず、長時間作業などを行ったときに発症します。例えば、「前日より急に温度が上がった日」「気温は高くない

が多湿の日」「室内で作業していた人が急に屋外で作業をしたとき」などがあります。また、乳幼児や高齢者、肥満者、下痢などで脱水傾向にある人、発熱のある人、睡眠不足などの要因があると、発症しやすいので注意が必要です。

予防として、こまめに水分のみでなく塩分を摂りましょう。また、睡眠や休息を十分にとり、風通しをよくして直射日光を避けましょう。

熱中症にかかった場合は、涼しい場所で休ませ衣服を緩める  
霧吹きなどで水を吹きかけたり、冷水タオルで手足をマッサージする(うちわなどでもいいでしょう)  
氷枕などでわきの下や首、足の付け根を冷やす  
経口補水塩やスポーツドリンクを飲ませる  
このような処置を行いながら、救急車を呼びましょう。

応急措置として、「経口補水塩」を飲むのも良いでしょう。これは、水に塩類とブドウ糖を加えて、効率的に水分を吸収できるようにしたものです。水1リットルに対して砂糖小さじ4、塩小さじ半分を混ぜて作れます。

お問い合わせ・申込み先 飯南病院 TEL72-0221 来島診療所 TEL76-2309 保健福祉課 TEL72-1770

## 私たちの地域を紹介します

第15回

## 志津見

28世帯・76人



「志津見」は、町の北西に位置し、出雲市に隣接している地域です。建設中の「志津見ダム」、ボビーやコスモスが咲き乱れる「東三瓶フラワーバレー」には、町内外から多くの皆さんにお越しいただき、交流が芽生える場所でもあります。

ダム工事により様々な施設等が完成し、皆さんには、恵まれた地域」といった印象があるかもしれません。しかし、ここに住む私たちがとって、近年はダム移転で寂しくなった地域を「再生すること」に精力を傾けた、とても厳しい時期でした。うぐいす茶屋やクラインガルテン、釣り堀「やまめの溪」をメインとした、「有志の里」の取り組みは、地域再生の中心です。地域の全戸が参加して、精力的に取り組みしており、以前の活気が戻ってきました。

「地域の象徴『クラインガルテン』」  
「志都の里クラインガルテン」は、滞在型市民農園として、都市部の方が利用されています。私たちも多くのイベントを企画して、積極的に交流を進めています。



「うぐいす茶屋」  
30代から60代までの女性グループ「だんだん志津見」が、施設の運営と豆腐作りを行っています。

大人気の豆腐は、わざわざ出雲や松江から買いに来てくださる方もいるほどです。皆さんはボランティアでの運営ですが、集まって作業することや、お客さんとの交流が楽しく、やりがいを感じています。



★クラインガルテン利用者の声  
小紫 恵子さん  
(広島市写真右)

家の前に畑があるのが、何よりうれしい。畑仕事はここで始めたのが最初ですが、農家の方の偉大さを感じました。大変だけど、収穫の喜びは格別です。

中下 武明さん(広島市・写真左)  
朝は美味しい空気、夜は輝く星空。ここでは、好きな時に好きなだけ外へ出て、いい汗をかいています。こんな贅沢、都会では出来ませんね。

## こんにちは中山間地域研究センターです

やまめのつかみ取りの様子



### やまめのつかみ取り

午後には恒例の「やまめのつかみ取り大会」も開催します。

夏休みだ！自然とふれあおう！

## 島根県 県民の森フェスタ2007

今年で14回目となる「島根県民の森フェスタ2007」を8月に開催します。

### 森林セラピー基地認定記念

町と県が共同申請していた森林セラピー基地が、山陰で初めて認定され、今年に記念式典を併せて開催します。

### ステージイベント

お仕事戦隊イソガシンジャーショーや、丸太を積み上げて高さを競う「丸太の輪切り積み大会」、スタンプラリーなど、多くのステージイベントを開催します。



木材を使った工作風景

### 体験コーナー 食歩きコーナー

体験コーナーでは、野外料理体験、山仕事体験、森林セラピープチ体験など、様々な自然と触れあう体験ができます。さらに地元出店者による「食歩きコーナー」では、軽食、ドリンクなどを販売しています。

詳しくは『県民の森フェスタ』の詳細については、お電話いただくか、中山間地域研究センターホームページをご覧ください。



### 琴峯俳句会

会員作品抄

- \* 草茂るこも棚田の跡らしく
- \* 紫陽花や和尙奥より返事する
- \* 注連縄を巻きし神木若葉せり
- \* 紫陽花の庭より訪へる親さに
- \* 軒下に芸術品の燕の巣
- \* 沈みゆく夕日に映ゆる濃紫陽花
- \* ダムの面の見へ隠れて夏木立
- \* 野仏の腫優しき夏木立
- \* 忽と逝く雲袋の咲く夕べ
- \* 紫陽花や空を見上げて雨を待つ
- \* ひっそりと紫陽花寺の暗さかな

### 赤名短歌会

六月詠草

- \* 古葉菊にありしは父母のラブレター義妹は明るく吾に電話す
- \* 八十路なる我らの頭髪霜おきて顔に波よると友に語らん
- \* 口の辺に飯粒一粒とつけながら食事すめる夫に吹き出す
- \* 町長杯ゲートボールは五月晴れ八十路の二人今年も参加
- \* ささやかな二人の夕餉に初釜若葉の色のサラダ菜添えて
- \* 五月野の風を握りて少年の高きジャンプとすなりとなしぬ
- \* あじわいし辛苦とみんな優しくに東へて来た友惜しまれる友よ
- \* 独り居の親友に電話する度に必ず云えり「御主人大切に」
- \* 紅白の芍薬の花一抱え墓前に供えてわたしの満足
- \* 子や孫が退職祝すと集い来るうれしき胸にこみあげ
- \* 日曜日長の娘がひ孫連れ四人来りて九人で遊ぶ
- \* ひねもすを棒の籠一枚とつけてゆうらり蜘蛛は糸垂れる
- \* 眼を瞑る衣冠帯常に二条城の広き廊下とせず歩む

県政に関するご意見・ご提案をお寄せください

# 「県民ホットライン (知事への提案)」

提案の方法  
 県ホームページから(SSL対応)  
<http://pref.shimane.lg.jp/>  
 Eメール  
[teian@pref.shimane.lg.jp](mailto:teian@pref.shimane.lg.jp)  
 郵送  
 〒690-8501 島根県松江市殿町1番地  
 島根県広聴広報課県民対話室  
 「県民ホットライン」宛  
 FAX 0852・22・6025

お問い合わせ  
 島根県広聴広報課県民対話室  
 TEL 0852・22・5770



# お知らせ INFORMATION

## 就職フェア しまね開催

出雲会場 8月4日(土) ラピタウエディングパレス  
 益田会場 8月13日(月) 益田市立保健センター  
 浜田会場 8月14日(火) いわみーる  
 松江会場 8月15日(水) くにびきメッセ

いずれの会場もセミナー・面接会を次のとおり開催します。  
 セミナー 10:30~12:00  
 面接会 13:00~16:30

お問い合わせ先  
 (財)ふるさと島根定住財団ジョブカフェしまね  
 TEL 0852・28・0691

これまで各社会保険事務所で行なってきた年金給付(厚生年金保険・国民年金の老齢年金裁定請求書、遺族年金裁定請求書等)の審査・裁定業務について、業務の効率化を図るため、6月から次の集約場所で行なっています。  
 皆様のご理解とご協力をお願いします。

集約場所 島根社会保険事務局年金裁定センター  
 〒690-8511  
 松江市朝日町107 松江社会保険事務所内

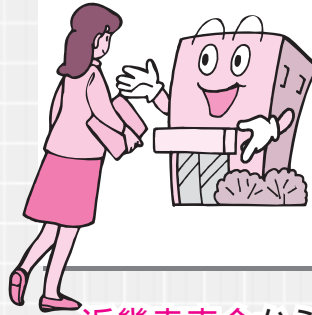
取り扱っている事務  
 国民年金・厚生年金保険の給付関係裁定請求書、老齢福祉年金、諸変更届書(年金証書再交付申請、年金受給権者住所・支払機関変更届等)の処理および年金証書等の作成・発送

年金裁定請求書等の提出、年金裁定にかかるお問い合わせおよび年金制度にかかる相談は、今までどおり松江・出雲・浜田の各社会保険事務所で行ないます。

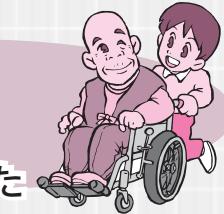
提出いただいた申請書・請求書にかかる照会・返戻については、年金裁定センターから行ないます。その際、職員は必ず名前を名乗り、届書名をお伝えした上でお尋ねしますので、ご承知願います。

お問い合わせ 出雲社会保険事務所  
 0853・24・0044

## 年金の給付関係処理が集約化されます



## 近畿赤来会から 車椅子 をいただきました



近畿赤来会から、今年も2台の車椅子を贈呈いただきました。車椅子は、来島診療所と赤来福祉会に1台ずついただくことになり、7月6日(金)に各施設で贈呈式がありました。施設の関係者も大変喜んでおり、今後の福祉活動に活用されそうです。近畿赤来会の皆さん、ありがとうございました。

## 年金に関するご相談は ねんきんあんしんダイヤルへ

☎0120-657830

県内3つの社会保険事務所へもお気軽にご照会ください。  
 松江 0852・26・2800 出雲 0853・24・0044  
 浜田 0855・22・0672

役場にも相談窓口を開設しました  
 対応時間 平日8時30分~17時15分  
 窓口 赤名庁舎(住民課)、頓原庁舎(自治振興課)、各支所  
 必要なもの 基礎年金番号の分かるもの(年金証書・年金手帳など)

## 自衛官募集

自衛隊では、次のとおり自衛官を募集しています。

募集要項	応募資格	応募期間(締切)	採用試験
一般曹候補生(陸・海・空)	18歳以上27歳未満の者	8月1日(水)~9月7日(金)	9月17日(祝)
2等陸・海・空士	18歳以上27歳未満の者	【男性】8月1日(水)~9月7日(金) 【女性】8月1日(水)~9月7日(金)	【男性】筆記試験:9月17日(祝) 身体検査及び口述試験 9月19日(水)~9月21日(金)の間のいずれか1日 【女性】9月25日(火)
航空学生(海・空パイロット)	高卒(見込含)21歳未満の者	8月1日(水)~9月7日(金)	9月22日(土)
看護学生	高卒(見込含)24歳未満の者	9月7日(金)~9月28日(金)	10月14日(日)
防衛医科大学校学生	高卒(見込含)21歳未満の者	9月7日(金)~9月28日(金)	11月3日(土)~4日(日)
防衛大学校学生	高卒(見込含)21歳未満の者	9月7日(金)~9月28日(金)	11月10日(土)~11日(日)

試験内容や場所など詳しくは、自衛隊島根地方連絡部出雲募集事務所まで【お問い合わせ】自衛隊島根地方連絡部出雲募集事務所 ☎0853・21・0831

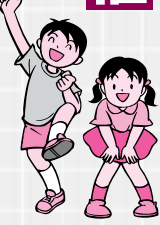


子どもたちの健康のために、生活習慣改善のための具体的な効果的な方策を検討し、家庭と学校、地域との連帯を図りながら、改善についての取り組みを推進します。

日時 8月18日(土) 13時30分~16時45分  
 会場 島根県民会館  
 参加費 無料  
 内容 講師 神山潤さん  
 講演 講師 神山潤さん  
 東京北社会保険病院副院長  
 演題「今、なぜ早起き、早寝、朝ごはん?」  
 パネルディスカッション  
 家庭・学校・地域における生活習慣改善の取り組みの中で特に「食」にスポットを当てた実践事例を紹介しながら、意見交換を行ないます。

お問い合わせ  
 島根県教育庁保健体育課  
 0852・22・6145

## 生活習慣改善フォーラム 開催



気持よく歩ける道にしましょう  
 タバコの吸いながらや空き缶など、ゴミが落ちていない道は歩いていても気持ちのいいものです。捨てない、汚さないのルールを一人ひとりがしっかりと守り、道路をいつもきれいにしましょう。

違反駐車は絶対にやめましょう  
 違法駐車は、通行の妨げや渋滞の原因になります。また、車のかけから人や自転車が飛び出し、事故になることも多くなります。

みんなの安全とスムーズな通行のために、お互いがルールを守りましょう。



今月の表紙  
 角井八幡宮の蓮華祭は、江戸時代から伝承されており、町指定無形民俗文化財にもなっています。この神事には、「牛の代かきの儀」というのがあり、牛に扮した人が「ハラハラハラハラ」と唱えながら、代かきの真似をする場面が印象的です。  
 また、「御田植の儀」では、はやしこの音色に合わせて早乙女が田植えを演じ、この祭りとあわせて秋の豊作を願います。



お名前	親族	地区
原 宏様 (64)	和枝 (下米島)	
石川 ヒロ子様 (88)	良隆 (下赤名)	
永井 正子様 (82)	草 (八神川西)	
和田 量尊様 (96)	明子 (赤名)	
高橋 一視様 (73)	武弘 (赤名)	
深石 薫様 (83)	賢一 (豊原)	
大谷 久雄様 (86)	逸雄 (花栗)	
難波 政行様 (101)	喬 (井戸谷)	

新生児 6月届出分  
 伊達 佑太様 届出人 地区  
 田中 翔也様 栄史 (上赤名)

# まちのスケジュール

小さな田舎からの「生命地域」宣言 いのち彩る里 飯南町

広報「いのち」7月号

町の人口5,933人(前月比+12人) 男性2,806人 女性3,127人 世帯数2,170戸

日	月	火	水	木	金	土
7/29 □ 頼原中サマーコンサート(みせん) * 飯南ヒルクライム2007(琴引山周辺~) * 参議院議員選挙投票日	7/30	7/31	1 □ 赤来中サマースクール ~3日	2 * 银山街道応援団除草活動(赤名峠周辺)	3 □ 保育所お泊り保育~4日(桜ヶ台・さつき) * 赤名・来島・谷公民館合同グラウンドゴルフ大会(赤名山村広場)	4 * 志々地区体協ゲートボール大会(志都の里) * 小田夏祭り(旧小田小グラウンド)
5 □ 頼原小親子奉仕作業 □ 志々小親子奉仕作業 □ 頼原中PTA奉仕活動 * 八神ふる里夏祭り(志々乃村神社) * 県消防操法大会(益田市)	6 * スマイルりんご(来島保健センター) * サマーボランティアスクール ~8日(みせん)	7 * 基本健康診査~8日(赤名改善センター) * 近畿赤来会交流企画~8日(甲子園~)	8 □ 来島保育所地域開放日 * 軽体操(保健福祉センター)	9 * 胃がん検診(奥畑公会堂・保健福祉センター)	10 * 全日本吹奏楽コンクール島根県大会(益田市:グラントワ) * 行政相談(来島基幹集落センター)	11 * 県民の森フェスタ2007(県民の森:小田)
12	13 * おしゃべり広場(クラインガルテン)	14	15 * 赤名盆踊り大会(赤公:赤名町民グラウンド) * 谷盆踊り大会(谷体育館前グラウンド) * 飯南町成人式(赤名改善センター)	16	17	18 □ 赤来中・飯南高吹奏楽部定期演奏会(赤名改善センター)
19 □ 赤名小PTA奉仕作業 □ 頼原中ビール瓶回収	20 □ 飯南高始業式 * スマイルりんご(来島保健センター)	21 □ 赤来中三瓶研修~23日(三瓶青年の家:対象1年生) * 軽体操(来島基幹集落センター)	22 □ 赤来中職場体験~23日	23 * 乳児・1歳6カ月児健診(保健福祉センター) * フッ素塗布(保健福祉センター) * 人権相談(さつき会館・谷コミセン)	24	25 □ 来島小PTA奉仕作業
26 * 町民体育大会(赤名:赤名小グラウンド)(来島:来島小グラウンド)(頼原:頼原町民グラウンド)(谷:谷体育館前グラウンド) * 志々地区体協ソフトボール大会(志々山村広場)	27 * おしゃべり広場(さつき会館)	28 * 胃がん検診(来島保健センター)	29 * 軽体操(赤名改善センター)	30 □ 飯南高鵬雲祭~9月1日 □ 小中学校始業式	31	9/1 □ 保育所奉仕作業(さつき・赤名・来島)

□教育 \*健康・保健 \*文化・体育 \*その他



決められた日時をお守りください

し尿汲取り日	
汲取り地区	汲 取 り 日
頼 原	7日 9日 27日 29日
志 々	12日 14日
赤 名	2日 4日 22日 24日
来 島	17日 19日
谷	4日 24日

※汲取り日が日曜日の場合は前後の日となります。

資源物	
収集地域	収集日
頼原	15日(水)
赤来	22日(水)

	金属類・粗大物		ガラス類	
	収集地区	収集日	収集地区	収集日
頼原連坦地	頼原連坦地	27日(月)	頼原連坦地	6日(月)
	八神連坦地	29日(水)	八神連坦地	8日(水)
	志々・頼原の連坦地以外	28日(火)	志々・頼原の連坦地以外	7日(火)
赤名連坦地	赤名連坦地	20日(月)	赤名連坦地	1日(水)
	来島連坦地	22日(水)	来島連坦地	3日(金)
	赤名・来島の連坦地以外	21日(火)	赤名・来島の連坦地以外	2日(木)